

一 般 質 問 通 告 表

平成23年第3回始良市議会定例会《9月14日（水） 午前9時開会》

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 和田 里志	1. 公共施設等整備事業について	<p>(1) P F I 導入可能性調査業務報告書について</p> <p>公共施設等の整備について、従来の公共事業方式と民間資金等を活用する方法とを比較検討するため民間資金等活用調査事業(P F I 導入可能性調査)を実施し、その報告が先月なされた。</p> <p>市長は新市まちづくり計画を指針とし、第1次始良市実施計画に沿って、新設小学校・消防庁舎・あいら斎場の3つの施設について、その整備方法などについて精査し、着実に進めていくとしたが、P F I 導入を断念した経緯と、その理由について問う。</p> <p>(2) 今後の公共施設等(3施設)の整備について</p> <p>今後の3施設整備方法とその具体的実施時期、展開について問う。</p>	市長
	2. 開発行為等に関する行政の関わりについて	<p>都市計画及び開発行為等の許可申請に基づき行われた地域の開発及び道路計画等は、当初の計画どおり又は、協議したとおり進められているか。</p> <p>またその後の、行政側の監督・指導は充分なされているかどうか問う。</p>	市長
2. 湯川 逸郎	1. 資源物分別収集方法について	<p>「資源物分別収集方法の統一に向けて」どのような取組みがなされたか。また、いつから実施する考えなのか具体的に問う。</p> <p>①蒲生地区ではどうか。</p> <p>②加治木地区ではどうか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 危険物（赤袋）収集方法について</p> <p>3. 粗大ゴミ収集方法について</p> <p>4. 生ゴミ減量対策について</p> <p>5. 事業系ゴミの分別対策について</p> <p>6. 火葬場建設について</p>	<p>③始良地区ではどうか。</p> <p>資源ゴミの取扱いについて危険物類等の赤袋の収集方法は、これまで資源物収集と同時に、同じ場所で収集されていたが、どのような方法に変更されるのか問う。</p> <p>粗大ゴミの取扱いについて、これまで加治木地区ではステーションでの活用を図り、粗大ゴミ収集が行われていたが、今後はこの方法により、市全域で統一して収集が行われるのか問う。</p> <p>生ゴミ減量対策として、焼却施設等の延命化を図るために、どのような対応を行っているのか。また、焼却施設等のゴミ投入状況と併せて具体的に問う。</p> <p>事業系ゴミの分別対策及び指導はどのように行っているのか具体的に問う。</p> <p>基本構想及び基本計画が8月19日の議会全員協議会で報告がなされたが、それに伴う取付道路の構想と対策はどのようになるのか問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
3. 森 弘道	1. 北山の企業誘致について	<p>鹿児島県バイオテクノ事業協同組合が北山を拠点に操業するとの計画がある。次の点について問う。</p> <p>(1) 事業の経営者と事業内容を示せ。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(2) 国の補助事業が受けられるか。補助事業名と補助率は何%か。</p> <p>(3) 荒廃した森林の整備と再生、過疎地域の雇用や活性化につながり、始良市の森林の産業振興に大きく寄与すると考える。市としての取組み協力態勢と支援について示せ。</p> <p>(4) 市としてのメリットを具体的に示せ。</p>	市長
	2. 始良市の火葬場建設について	<p>(1) 火葬場建設については関係法令等問題も多く、クリアしなければならないものがあるが、特に困難が予測されるものについてどんなものがあるか。</p> <p>(2) 既存施設の隣接地計画について推進したいが、現在でも道路事情が悪い。周辺環境整備を図ることで住民の協力態勢も得られると考える。</p> <p>① 周辺地域の道路整備及び側溝整備の必要性はどう考えるか。また、県道からの進入路等県との協力関係もあると考えるがこれについてはどうか。</p> <p>② 加治木方面からの高速のガードをくぐらない新たな道路も必要と考えるがどうか。</p>	市長
	3. 観光に伴う、整備と文化財指定について	<p>(1) 義弘公屋形跡隣接の花園寺跡の整備は今後どのようにするのか。</p> <p>(2) 周辺一帯は義弘公に関係する史跡が多く散在していることから駐車場とトイレが必要と考えるがどうか。ま</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>4. 薩摩の郷中教育を本市の教育に取り組むことは出来ないか</p>	<p>た、周辺の道路整備、側溝整備について要望書が出ているが整備についてはどうか。</p> <p>(3) 義弘公お茶の泉水跡は市の文化財指定は出来ないか。</p> <p>(1) 本年度教育振興計画の策定となっている。時代を超えても変わらない先人の知恵と生き方、人間愛、郷土愛、精神面の育成などすばらしいものがある。本市の教育に取り組むことは出来ないか。</p> <p>(2) 県内での取り組み状況はどうか。成果と評価についてはどうなっているか。</p> <p>(3) 木曾川の治水工事、薩摩義士の偉業について来年から中学2年生の国語教科書に登場するが、これについてどのような見解と生徒の変容を期待するか。</p>	<p>市長 教育委員長</p> <p>教育委員長</p>
<p>4. 東馬場 弘</p>	<p>1. 市来原地区の営農飲雑用水の整備について</p> <p>2. 公用車の管理・運用について</p>	<p>(1) 県の農村振興総合整備事業による市来原地区の営農飲雑用水整備の進捗状況を問う。</p> <p>(2) この地区の営農飲雑用水整備に係る今後の事業費の概算を問う。</p> <p>(3) 地区民の要望に対する対応を問う。</p> <p>(1) 公用車保有台数と集中管理車(始良・蒲生・加治木別、)は何台か問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 市道整備について	<p>(2) 公用車の車両管理業務の効率化等を問う。</p> <p>(3) 経年数の長い車両の今後の取扱いを問う。</p> <p>(4) 環境面に対しての低公害車（ハイブリッド・EV車）の保有台数は何台か。また、今後の低燃費・低公害車配備（購入予定車両）と入札のあり方について問う。</p> <p>(1) 市道中野線は幹線道路であるが、この沿線の川畑地区拡幅計画について問う。</p> <p>(2) 国道10号の岩原交差点から南へ下り、市道海浜通り線と接続させ、新設道路として街路計画に取り組みないか問う。</p> <p>(3) 加音ホールを中心とした近隣の岩原地区・須崎地区を区画整理の事業として取り組みないか問う。</p>	市長 市長
5. 玉利 道満	1. 安心して安全な生活環境の整備について	<p>(1) 緊急通報システムについて</p> <p>① 新システム移行への進捗状況と移行に当たっての課題は何か。</p> <p>② システムの導入経費、利用料の負担をどのように考えているか。</p> <p>③ システムの利用内容はどのようなものか。市民にどのように説明していくのか。</p> <p>④ 委託事業であるが市からの支援・指導はどのようになされるのか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 総合計画について	<p>⑤ 安心な生活を支える有効な施策であるが、今後どのように推進していく考えか。</p> <p>(2) 未給水地域への対応について</p> <p>① 市内における未給水地域の実態調査はどのようになされているか。</p> <p>② いわゆる限界集落のライフラインの問題であるが、どの部署で対応しているのか。</p> <p>(1) 地方自治法の改正により市町村の基本構想に関する規定を削除することとされたことについて、どのように対処するのか。</p> <p>(2) いままでの市長答弁との整合性はどのように考えられているか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
6. 笹井 義一	1. 農業振興策について	<p>旧始良町では、昭和 54 年頃から先駆的な農家が有機栽培に取り組み、このことが県内はもとより全国的に評価され、平成 10 年度第 4 回環境保全型農業推進コンクールで「農林水産大臣賞」を受賞した。10 数年が経過して合併後の新市でも脈々と引き継がれているが、農家の高齢化と後継者不足は、厳しいものがある。</p> <p>一方「始良市担い手育成総合支援協議会」では、転作作物として「葉にんにく」実証ほ、水田裏作として「加工原料用麦栽培」、「有機栽培ピーマンの生産向上対策」、「こまつなの防虫ネットによる病害虫防除対策」など、実証ほによる取り組みが行われている。</p> <p>このような取り組みの現状と将来目標等については、行政の担当部署と実</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>践している担い手農家等が知るだけで、応援団であるべき消費者に知らされないことは、不幸なことと考える。</p> <p>① 一次産業のうち、とりわけ農業振興に対する市長の考えを問う。</p> <p>② 農業振興は、生産と販売で終わることではなく、真中に「加工」が必要であると思う。始良市においても法人化した農家が加工を加えた「直産販売所」を開設されたが、厳しい運営状況である。</p> <p>個々の農家だけの取り組みには限界があると思う。</p> <p>農・水・商・工・観光など行政と団体と地域が一体となった取り組みが必要であると思う。このことについて市長の考えを問う。</p>	市長
	2. 行政改革の実施計画について	<p>(1) 始良市は、23年2月15日に行政改革大綱を決定した。</p> <p>実施計画は23年度上半期までに設定し、可能な限り数値目標も設定することとしている。</p> <p>9月を迎えて実施計画は概ね整っていると思われるが、進捗状況と公表の時期を示せ。</p> <p>(2) 改革に取り組む3つの視点の2番目に「施策の抜本的見直し」と「財政運営の健全化」が示されている。</p> <p>ここでは、「財政運営の健全化」を特定して質問する。先に行われた「PFI導入可能性調査業務報告書」の説明で、小学校・斎場・消防署の建設は、3施設とも従来方式が好ましいと報告された。合併推進債を活用することで、</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>事業費ベースでは大きな隔たりがないことが理由と述べている。</p> <p>一方 3 事業の同時進行に対する質問に対して、合併推進債（90%の充当率、40%の交付税措置）の活用と、合併算定替え期間中の平成 26 年度までに事業完成を行うことで、後年度負担をできる限り軽減すると述べた。</p> <p>① 小学校・斎場・消防署の建設にあたって、P F I 方式と従来方式の違いを具体的な数値で示せ。</p> <p>② 小学校・斎場・消防署の建設を同時進行した場合と、小学校と消防署の建設を同時進行し、斎場建設を 5 年遅らせた場合のメリットとデメリットの概要を数値で示せ。</p> <p>（3）改革に取り組む 3 つの視点の 3 番目に「組織・機構の見直しと定員管理の適正化」が示され、改革を進める 8 つの重点事項の 3 番目に「組織機構の見直し」が示されている。</p> <p>組織機構見直しの 1 番目に「簡素で効率的な組織・機構の構築」が示されている。特に横断的な組織の連携が重要と考えるが、市長の基本的・具体的な構想を問う。</p>	市長